

# 平成29年度 九州地方整備局 新技術評価技術一覧

## 【事後評価】

評価区分の定義(活用効果評価)

実施要領 3.5 新技術の活用促進

評価区分	内容
活用促進技術	活用効果評価において、それぞれの評価会議が選考し指定するもの <選考要件> イ 総合的に活用の効果が優れている技術 ロ 特定の性能又は機能が特に優れている技術 ハ 特定の地域のみで普及しており、全国に普及することが有益と判断される技術 ニ その他評価会議が選考し指定する技術
-	上記以外

	技術名称※	評価区分	継続調査	備考
1	<a href="#">コンクリートブレーカーの消音器「CBRマフラー」【CG-080023】</a>	-	継続調査の必要性なし -VE	分類: 構造物とりこわし工
2	<a href="#">乾式ワイヤーソーイング工法【KT-080004】</a>	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 構造物とりこわし工
3	<a href="#">簡易支持力試験機エレフト(地盤の平板載荷試験の補完試験機)【SK-070010】</a>	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 地質調査
4	<a href="#">軟弱地盤動態観測システム【HK-070014】</a>	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 軟弱地盤処理工
5	<a href="#">スケルカ・陥没防止技術(路面下空洞調査)【HR-130013】</a>	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 地質調査
6	<a href="#">自然災害防災システム ZEROSAI【QS-150021】</a>	-	継続調査の必要性なし -VE	分類: 分析・予測システム
7	<a href="#">防音タイプ油圧ブレーカ【QS-100020】</a>	-	継続調査の必要性なし -VE	分類: 構造物とりこわし工
8	<a href="#">超低騒音仕様油圧ブレーカを用いた解体・掘削工法【TH-090016】</a>	活用促進技術(旧)	継続調査の必要性あり -VR	分類: 構造物とりこわし工
9	<a href="#">WILL工法(スラリー揺動攪拌工)【QS-090004】</a>	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 軟弱地盤処理工
10	<a href="#">アジャストーン【QS-110002】</a>	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 軟弱地盤処理工
11	<a href="#">タコグラフチャート紙自動解析システム【HR-120020】</a>	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 調査試験
12	<a href="#">ユニカルマット【HR-110013】</a>	-	継続調査の必要性あり -VR	分類: 軟弱地盤処理工